

Coffee Market Report

February 2024



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

アラビカとロブスタのアービトラージが縮小する中、ロブスタ価格は上昇傾向が続いている

- 2月のICO総合指標価格 (I-CIP) の月次平均は182.04セント（米国セント/ポンド、以下同様）で、2023年1月から3.2%上昇した。I-CIPの中央値は181.84セント、価格レンジは177.48セントから187.07セントだった。
- I-CIPは着実に上昇し、2月には17 か月ぶりの高値に達した。
- 2月のコロンビアマイルドおよびアザーマイルドの月次平均価格は、前月対比それぞれ1.9%および2.7%上昇し209.53セントおよび208.78セントだった。
- ロブスタは3.2%上昇して153.23セントとなりほぼ30年ぶりの高価格となった。
- 2月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、前月の2.32セントから0.75セントに縮小した。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された2月のアービトラージは、前月対比9.1% 縮小して42.94セント/ポンドとなった。
- I-CIP の2月のボラティリティは、1月から3.3ポイント低下して6.8%だった。
- 2月のロブスタ認証在庫は引き続き減少を続けて16.8%減少の40万袋となり、2014年4月以降の最低水準だった。アラビカ認証在庫は35万袋で前月対比28.5%増加した。
- 2024年1月の世界の生豆輸出量は1,155万袋で前年同月の851万袋に対して35.8%増加した。
- アザーマイルドの1月の輸出量は182万袋で、前年同月の157万袋から15.6%増加した。
- ブラジルナチュラルの生豆輸出量は36.3%増の361万袋だった。
- コロンビアマイルドの1月の輸出量は99万袋で前年1月の87万袋から13.7%増加した。
- ロブスタの生豆輸出量は2023年1月の342万袋に対して2024年1月は513万袋で50.3%増加した。
- 南米地域からの1月輸出量は25.4%増の541万袋だった。
- アフリカ地域の輸出量は2023年1月の96万袋に対して2024年1月は102万袋で6.5%増加した。
- メキシコおよび中米地域の1月輸出量は前年1月の120万袋から7.7%減の111 万袋だった。
- アジアおよびオセアニアの2024年1月の輸出量は47.1%増の508万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの1月の輸出量は前年1月の98万袋に対して2.7%増の101万袋だった。
- ソリュブルコーヒーのコーヒー総輸出に占める1月時点のシェアは8.0%だった。
- 焙煎豆の輸出量は2023年1月の55,606 袋に対し2024年1月は7.6%増加し59,851袋だった。
- 世界のコーヒー生産量は、2022/23年度は0.1%増加し1億6,820万袋だった。2023/24年度は5.8%増加の1億7,800万袋と予測される。
- 世界のコーヒー消費は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた様々な問題の解消に向け対処を続けている。2022/23年度の消費量は僅かながら増加するとの予想だったが、実際には2.0%減の1億7,310万袋だった。しかし、2023/24年度は回復が予測されており、消費量は2.2%増の1億7,700万袋が見込まれている。
- その結果、2023/24年度の世界コーヒー市場の需給バランスは100万袋の供給超過と予想されている。

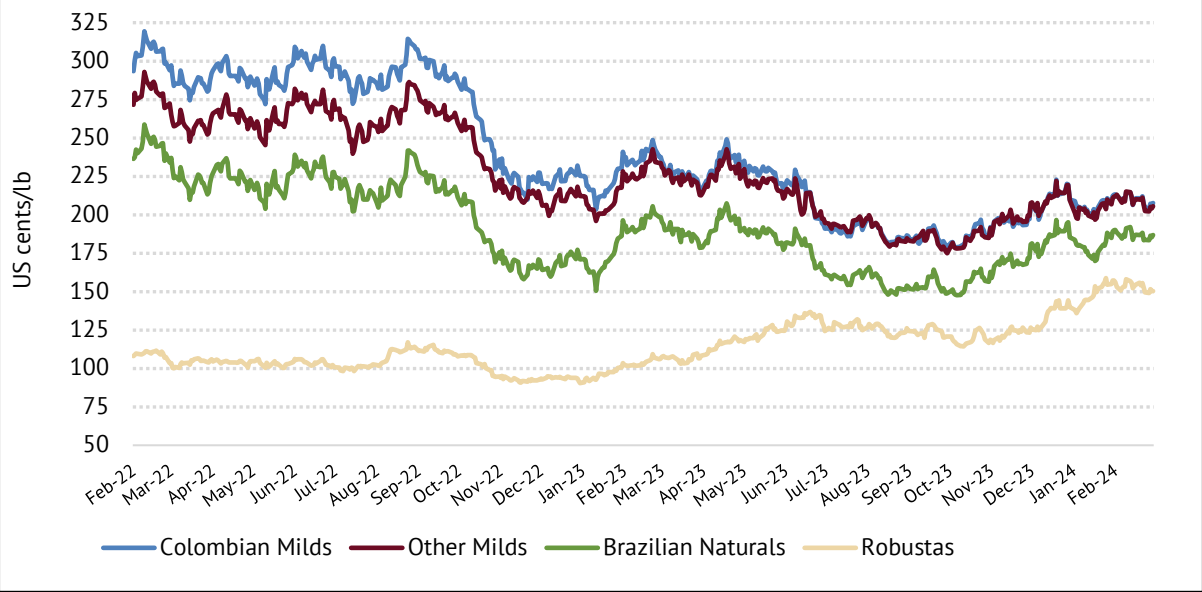
グリーンコーヒー価格

2月のICO総合指標価格 (I-CIP) の月次平均は182.04セント（米国セント/ポンド、以下同様）で、2023年1月から3.2%上昇した。I-CIPの中央値は181.84セント、価格レンジは177.48セントから187.07セントだった。2024年2月のI-CIPは2023年2月より4.2%高く、12か月移動平均は167.46セントだった。I-CIPは着実に上昇し、2月には17か月ぶりの高値に達した。重要なこととしてロブスタ価格が1994年11月の153.33セント以来の最高水準に達していることがある。



2月のコロンビアマイルドおよびアザーマイルドの月次平均価格は、前月対比それぞれ1.9%および2.7%上昇し209.53セントおよび208.78セント、ブラジルナチュラルは4.1%上昇し186.74セントだった。ロブスタは3.2%上昇の153.23セントで約30年ぶりの高水準となった。ICEインターコンチネンタル取引所のロンドン先物市場もロブスタ高騰の強力な原動力で4.9%増の142.43セント、またニューヨーク先物市場は1.3%増の185.37セントだった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図 2: ICOグループ指標価格



2月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、前月の2.32セントから0.75セントに縮小した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差およびコロンビアマイルドとロブスタの価格差は、それぞれ13.3%および1.5%縮小して22.80セントおよび56.30セントだった。また、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差も8.1%縮小して22.05セントだった。その一方、アザーマイルドとロブスタ価格差およびロブスタとブラジルナチュラルの価格差はそれぞれ1.3%および8.6%拡大して55.56セントおよび33.51セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

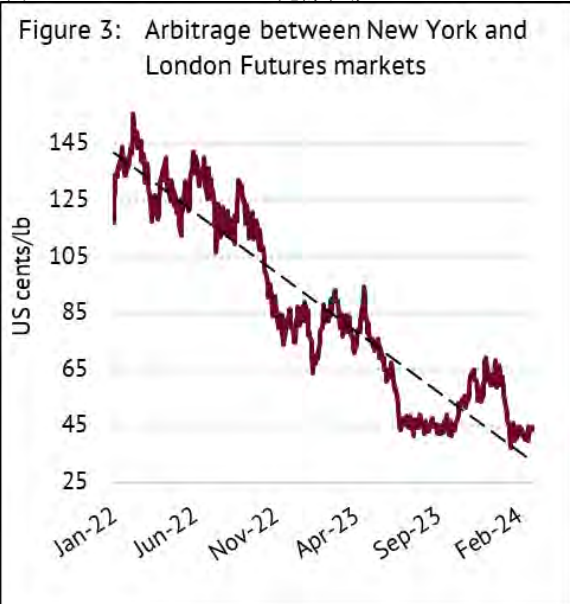
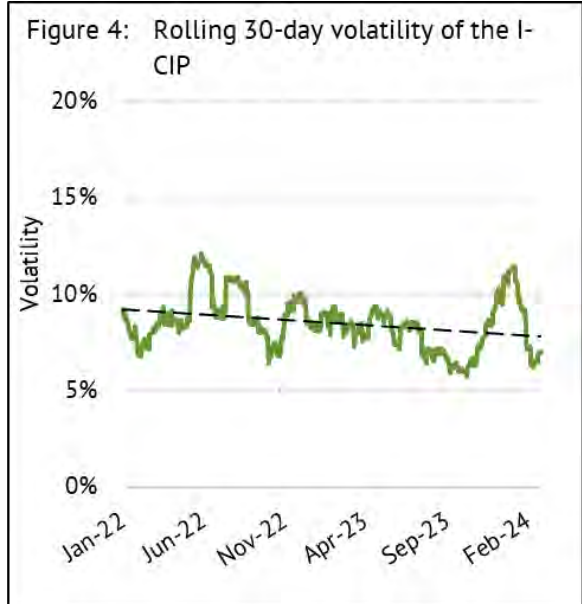
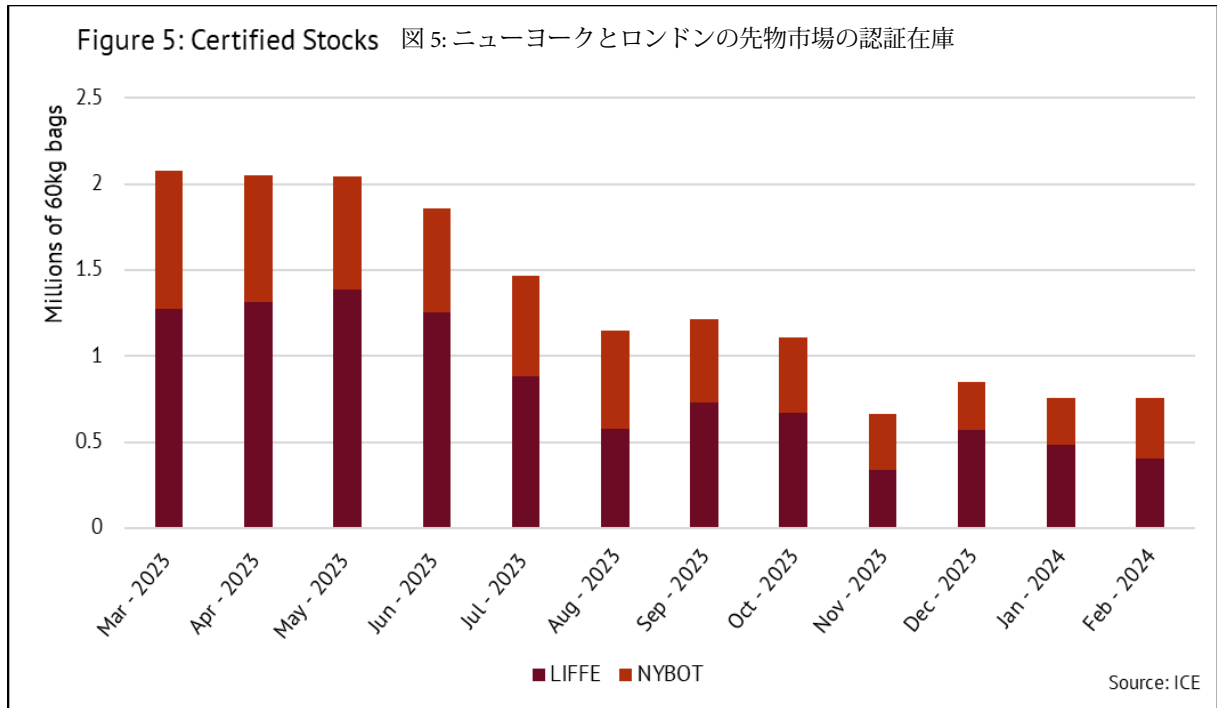


図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された2月のアービトラージは、前月対比9.1%縮小して42.94セント/ポンドとなった。

I-CIPの2月のボラティリティは、1月から3.3ポイント低下して6.8%だった。コロンビアマイルドとアザーマイルドの2月のボラティリティは、それぞれ8.0%と9.1%に低下した。また、ブラジルナチュラルのボラティリティは3.4ポイント低下して8.8%、ロブスタは8.7%だった。ロンドン先物市場のボラティリティも1.7ポイント低下して9.7%、ニューヨーク先物市場もロンドンと同じく3.4ポイント低下して9.6%だった。



2月のロブスタ認証在庫は引き続き減少を続けて16.8%減少の40万袋となり、2014年4月以降の最低水準だった。アラビカ認証在庫は35万袋で前月対比28.5%増加した。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

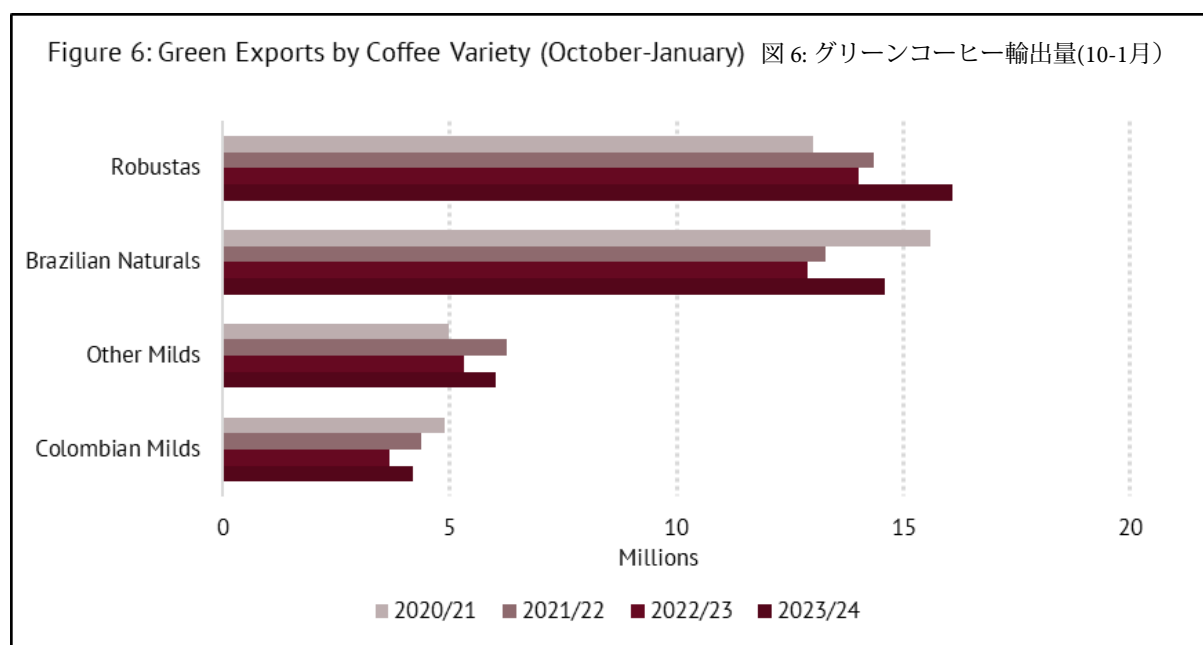
2024年1月の世界の生豆輸出量は1,155万袋で2023年1月の851万袋に対して35.8%増加した。これは1月の輸出量としては過去最大で、2019年に記録された1,039万袋を上回った。ただし、最近の生豆の輸出増加率の大きさは過去のベース効果（反動増※）と比較的供給の正常化を反映している（※2023年1月の輸出量は17.1%減の851万袋で、1月の輸出量としては2014年の807万袋以来の低水準だった）。2023/24コーヒー年度の1月までの累計は4,087万袋で、前年同時期の3,587万袋に対して14.2%の増加である。

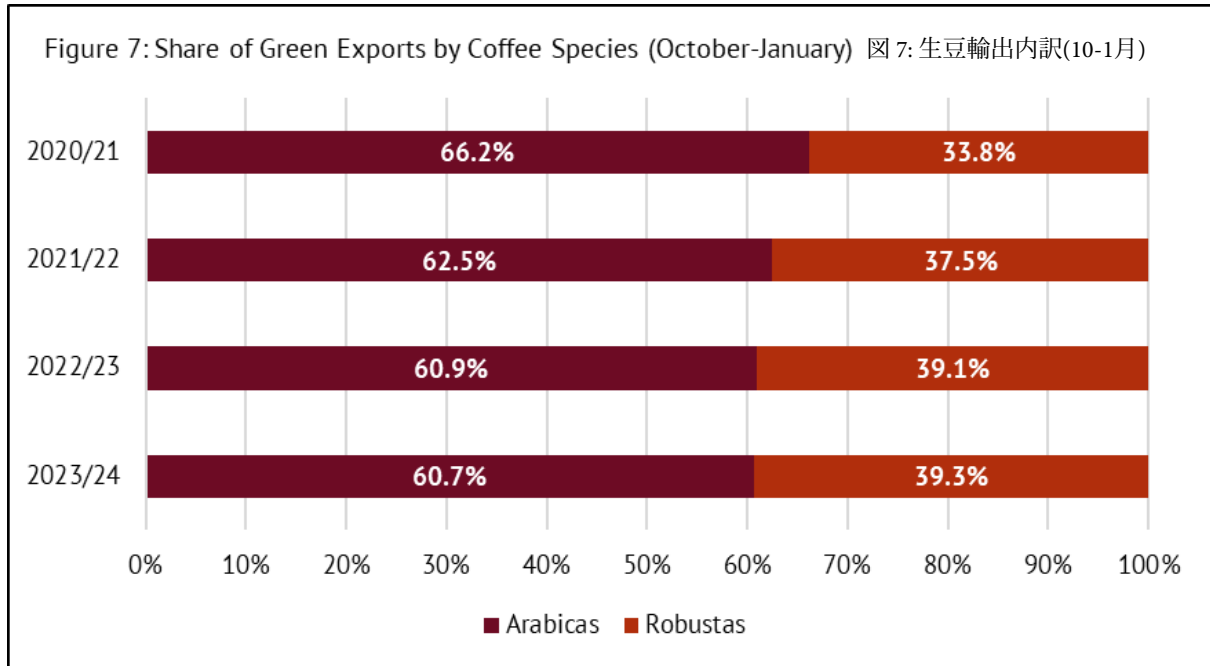
アザーマイルドの1月の輸出量は182万袋で前年同時期の157万袋から15.6%増加した。輸出量の二桁増加の主な原動力はペルーで、同国のアザーマイルド輸出量は2023年1月の16万袋から2024年1月には44万袋へと176.2%増加している。2023/24コーヒー年度の経過4か月累計は600万袋で前年度同時期の530万袋に対して13.2%増加した。

ブラジルナチュラルの1月の生豆輸出量は36.3%増の361万袋、2023/24コーヒー年度の経過4か月累計は1,459万袋で前年度同時期の1,288万袋から13.3%増加した。この顕著な増加率の要因としては、グループ最大の生産国かつ輸出国であるブラジルのブラジルナチュラルの輸出量が31.9%増加し、2023年1月の240万袋から2024年1月には317万袋に達したことがある。

コロンビアマイルドの1月の輸出量は99万で前年1月の87万袋から13.7%増加した。2023/24コーヒー年度の経過4か月累計では、前年度同時期の368万袋に対して14.2%増の420万袋だった。

ロブスタの生豆輸出量は、2023年1月の342万袋から2024年1月には513万袋となり50.3%増加した。これは1月の輸出量としては過去最大で2018年に記録した407万袋を上回り、その結果、2023/24コーヒー年度の経過4か月累計は、2022/23年度同時期の1,401万袋から14.7%増加し1,607万袋となった。1月のロブスタ輸出量増加の原動力はベトナムで、2023年1月の227万袋に対して2024年1月は377万袋が輸出された。





地域別の輸出量 - 全形態

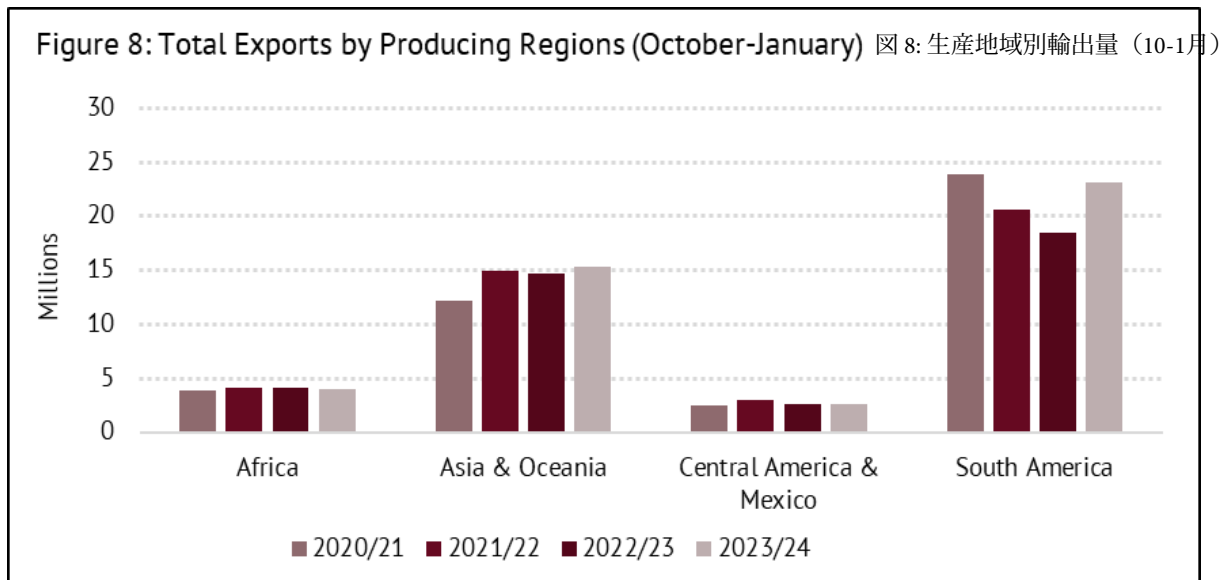
アジアおよびオセアニア地域の2024年1月の輸出量は、前年同時期に対して47.1%増加して508万袋だった。二桁成長の原動力はベトナムであり、2024年1月の輸出量は前年1月の244万袋に対して66.0%増の406万袋だった。これは2022年3月の輸出量362万袋というこれまでの記録を上回り、過去最大の月間輸出量である。ベトナムからの輸出量は2022/23コーヒー年度第4四半期初めから減少し始め、2022年7月から12月までの6か月累計898万袋に対して2023年11月までの6か月累計は22.6%減の695万袋だった。輸出量減少の主因は収穫量が平年水準を下回ったため、これにより現地の供給状況は逼迫し、またベトナムのコーヒー農家が国内生豆価格の高騰を目の当たりにして在庫の販売を見合わせたことでさらに悪化した。

ベトナム国内の生豆価格は、2022年12月初旬の平均41,000VND/kgから2023年11月中旬までに平均61,000VND/kgに上昇した。2024年の初めには70,000VND/kgに達し、2024年2月15日には80,000VND/kgまで上昇している。2023年12月から輸出量が大幅に増加した理由として現地価格の高騰により農家が好機と見て保留在庫の放出に動いたのではないかと推測されている。さらに、テト（旧正月、2024年2月10日）を迎える時期にあたりコーヒー農家は追加収入を求めることから、市場への追加的な供給がもたらされたであろうことも、2024年1月の記録的な輸出量の背景と考えられる。

南米地域の1月の輸出量は25.4%増加して541万袋だった。輸出量の著しい増加の源泉となっているのはブラジルで、2024年1月の輸出量は27.7%増の398万袋で、1月の輸出量としては過去最大だった。ブラジルの輸出量増加は、2023年1月の輸出が17.6%減の286万袋（これは2017年の272万袋以来、1月輸出としては最低水準）だったことによるベース効果（反動増）が反映されている。

アフリカ地域の輸出量は、2023年1月の96万袋から2024年1月は102万袋へ6.5%増加した。2023/24コーヒー年度の経過4か月累計は408万袋で、前年度同時期の415万袋から1.7%減少した。エチオピアは2024年1月の同地域の輸出量増加の主因であり、同国の輸出量は2023年1月の10万袋から24万袋へ159.5%増加している。著しい回復の背景には、過去のベース効果（反動増）と市場環境の正常化が反映されている。エチオピア国内の取引価格と国際市場価格の不一致から生じる契約紛争は、2023年初頭以降の輸出量に悪影響を及ぼしていたが、紛争は解決されたと見受けられ輸出の正常化につながっている。

メキシコおよび中米地域の1月の輸出量は、2023年1月の120万袋に対して7.7%減の111万袋だった。2023年10月から2024年1月までの4か月累計輸出量は262万袋で前年度同時期の261万袋に対して0.5%の微増に止まった。ホンジュラスは地域の輸出量減少の主因であり、2024年1月の同国輸出量は、前年1月の52万袋から34.3%減の34万袋だった。同国のコーヒー農家は高いインフレと生産コストの上昇に直面しており、生豆価格がさらに上昇することを期待して在庫を保留しているのではないかとの憶測もあることが、輸出に悪影響を及ぼしている。



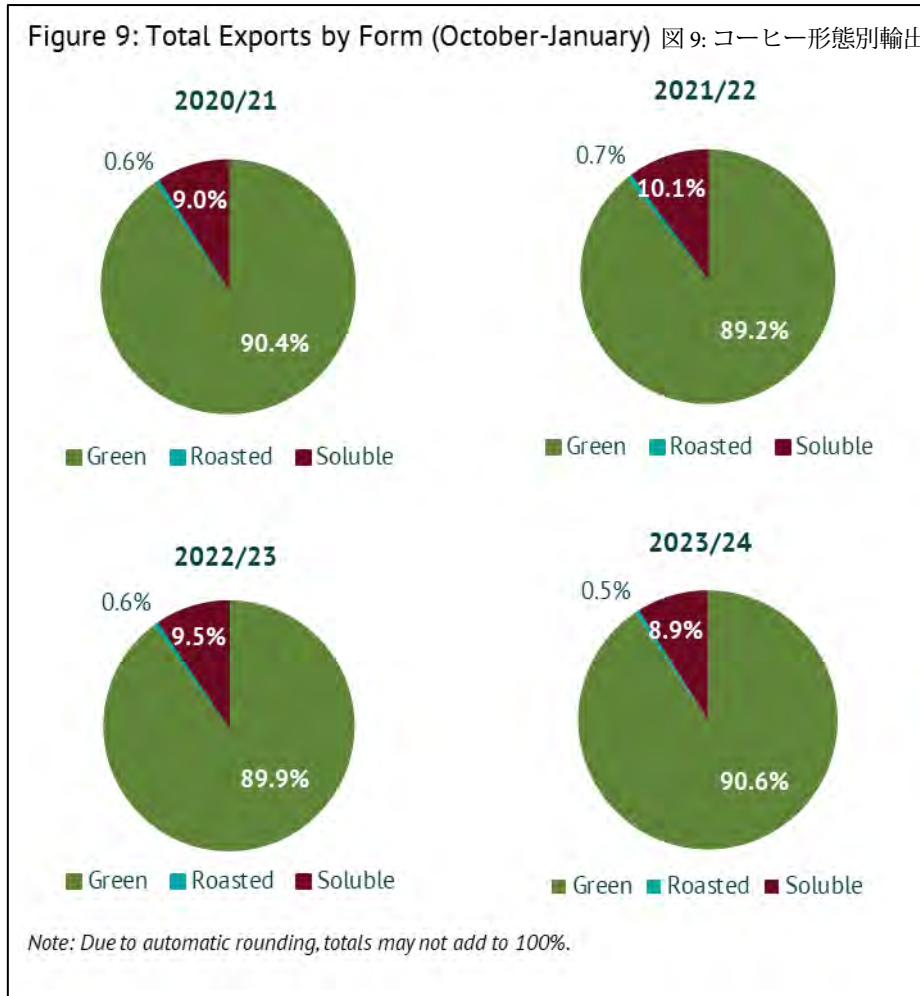
形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの1月の輸出量は前年1月の98万袋に対して2.7%増の101万袋、また2023/24コーヒー年度の経過4か月累計では前年度同時期の377万袋に対して6.8%増の403万袋だった。

ソリュブルコーヒーのコーヒー総輸出に占める2024年1月時点のシェアは8.0%で前年同時期の10.3%から低下した。ソリュブルコーヒー最大の輸出国はブラジルで1月の輸出量は31万袋だった。

焙煎豆の輸出量は2023年1月の55,606 袋に対し2024年1月は7.6%増加し59,851袋だった。2023/24年度の経過4か月累計は23万袋で前年度同時期の25万袋に対して減少している。

Figure 9: Total Exports by Form (October-January) 図9: コーヒー形態別輸出量 (10-1月)



生産量と消費量

2022/23コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は0.1%増加し1億6,820万袋となった。増加率の伸び悩みは、世界のコーヒー生産地域が、拡大するアメリカ大陸地域と縮小するそれ以外の地域にハッキリ分かれてきた、という地域レベルでの大きな変化を裏付けている。

アジア・オセアニア地域とアフリカ地域の生産量は、それぞれ4.7%減の4,984万袋と7.2%減の1,790万袋となっているが、これは悪天候が当該地域の主要生産国、特にベトナム、コートジボワール、ウガンダに悪影響を及ぼしたことが原因と考えられる。両地域の生産量の減少は、アメリカ大陸、特に南米の4.8%増加が完全に埋め合わせた。これは主にブラジルの隔年結果による8.4%の生産量増加によるものである。アメリカ大陸全体の合計生産量は1億500万袋に達している。

アメリカ大陸に所在する生産国とそれ以外の生産国という二極分化は、アラビカとロブスタの生産量の動向にも反映されており、前者は1.8%増の9,400万袋、これに対して後者は2.0%減の7,420万袋だった。

今後を展望すると、2023/24コーヒー年度の生産量は5.8%増の1億7,800万袋となり、アラビカの生産量は1億220万袋に、またロブスタの生産量は7,580万袋に増加すると予想されている。

2021年7月に発生した降霜の影響は収束・改善を続けており、隔年結果はブラジルのアラビカ生産量見込みに大きな影響を与えるだろう。2023/24コーヒー年度は裏年としては例外的なシーズンになることが予想されている。前年度は平均的な表年だったが、これに続いてそれを上回る程の良好な裏年になるとの見方が大勢を占めている。2022年に初めて指摘され2023年も続く悪天候は、2023/24年度の実績にマイナスの影響を与えると見込まれる。予想されるエルニーニョ現象は、アジア、特にインドネシアなどの生産量見込みを弱気にさせている。一方、ベトナムは灌漑の普及により降水量減少の影響が緩和されるため、より乾燥した暑い気候の恩恵を受けることが出来よう。

世界のコーヒー消費は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた様々な問題の解消に向け対処を続けている。コロナと言う外部ショックに対して、コーヒーの消費動向は過去に見られたパターンに準じて推移してきたことから、2022/23年度の消費量も、増加率は低下するにしても消費数量そのものは僅かながら増加するとの予想だった。しかし、実際には世界のコーヒー消費量は2.0%減の1億7,310万袋となった。

2022/23コーヒー年度の消費量は、生活費の高騰、可処分所得の減少、長期にわたる在庫の取り崩しの影響により、これまで経験したパターンが忠実に再現されることはなかった。コーヒー消費の弾力性は比較的低いにもかかわらず、困難な世界経済環境がコーヒーの消費にマイナスの影響を及ぼしたと考えられる。世界のインフレ率は2021年に9.4%と過去最高を記録したが、欧州連合、英国、米国における基準金利は2023年9月末時点で平均4.9%となり、2000年の平均5.8%以来の高水準となった。同時に、欧州コーヒー連盟が報告した在庫の大幅な取り崩し（ドローダウン）、および、米国インターコンチネンタル取引所に保管されている在庫の減少により、その合計在庫数量は1,450万袋から980万袋に480万袋減少している。このドローダウンにより、国際市場でのコーヒー調達の必要性が減少した可能性があり、2022/23年度の世界のコーヒー消費率の低下と異常さとして反映されている。

2023/24コーヒー年度の世界コーヒー消費量見通しは、世界経済が3.0%以上の成長を続けること、およびコーヒー業界が在庫の大幅な取り崩しの回復・積み増しに向けて対応するという仮定に基づいている。これは今後のコーヒー需要に見かけ上の消費のプラスとして反映されよう。その結果、世界のコーヒー消費量は2.2%増の1億7,700万袋になると予想される。非生産国が全体の増加に大きく貢献しており、この非生産国グループのコーヒー消費量拡大は2.1%と見込まれる。

その結果、2023/24コーヒー年度の世界コーヒー市場の需給バランスは100万袋の供給超過と予想される。

この見通しは、国際コーヒー機関(ICO)事務局の統計セクションの最新出版物であるCRO(Coffee Report and Outlook、コーヒーレポートと展望)から引用されている。CROは、最近の世界のコーヒー業界を動かす要因についての洞察を提供し、近い将来業界を動かす潜在的な出来事を抽出している。CROは、ICO Web サイト (www.icocoffee.org) からダウンロード可能で、詳細については統計セクション (stats@ico.org) までお問い合わせください。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
Aug-23	154.53	187.55	186.73	154.66	124.62	156.56	111.34
Sep-23	153.13	184.98	183.52	154.19	123.89	153.55	109.14
Oct-23	151.94	185.97	183.95	155.52	118.83	155.91	105.40
Nov-23	161.53	195.85	197.18	169.25	122.63	170.25	110.45
Dec-23	175.73	210.68	210.76	185.23	135.47	186.67	123.91
Jan-24	176.41	205.62	203.30	179.32	148.47	183.06	135.84
Feb-24	182.04	209.53	208.78	186.74	153.23	185.37	142.43
% change between Jan-24 and Feb-24							
	3.2%	1.9%	2.7%	4.1%	3.2%	1.3%	4.9%
Volatility (%)							
Jan-24	10.1%	10.9%	11.9%	12.2%	9.9%	13.0%	11.4%
Feb-24	6.8%	8.0%	9.1%	8.8%	8.7%	9.6%	9.7%
Variation between Jan-24 and Feb-24							
	-3.3	-2.9	-2.8	-3.4	-1.2	-3.4	-1.7

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
Aug-23	0.82	32.89	62.93	32.07	62.11	30.04	45.23
Sep-23	1.46	30.79	61.09	29.33	59.63	30.30	44.41
Oct-23	2.02	30.45	67.14	28.43	65.12	36.69	50.51
Nov-23	-1.33	26.60	73.22	27.93	74.55	46.62	59.81
Dec-23	-0.08	25.45	75.21	25.53	75.29	49.76	62.77
Jan-24	2.32	26.29	57.15	23.98	54.83	30.85	47.22
Feb-24	0.75	22.80	56.30	22.05	55.56	33.51	42.94
% change between Jan-24 and Feb-24							
	-67.6%	-13.3%	-1.5%	-8.1%	1.3%	8.6%	-9.1%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Jan-23	Jan-24	% change	Year to Date Coffee Year		
				2022/23	2023/24	% change
TOTAL	9,543	12,621	32.2%	39,892	45,125	13.1%
Arabicas	5,657	6,972	23.2%	24,016	27,053	12.6%
<i>Colombian Milds</i>	950	1,053	10.8%	4,071	4,479	10.0%
<i>Other Milds</i>	1,794	2,013	12.2%	6,223	6,818	9.6%
<i>Brazilian Naturals</i>	2,913	3,907	34.1%	13,723	15,756	14.8%
Robustas	3,886	5,649	45.3%	15,875	18,072	13.8%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23	Aug-23	Sep-23	Oct-23	Nov-23	Dec-23	Jan-24	Feb-24
New York	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58	0.57	0.49	0.44	0.32	0.28	0.27	0.35
London	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89	0.58	0.73	0.67	0.34	0.57	0.48	0.40

In million 60-kg bags